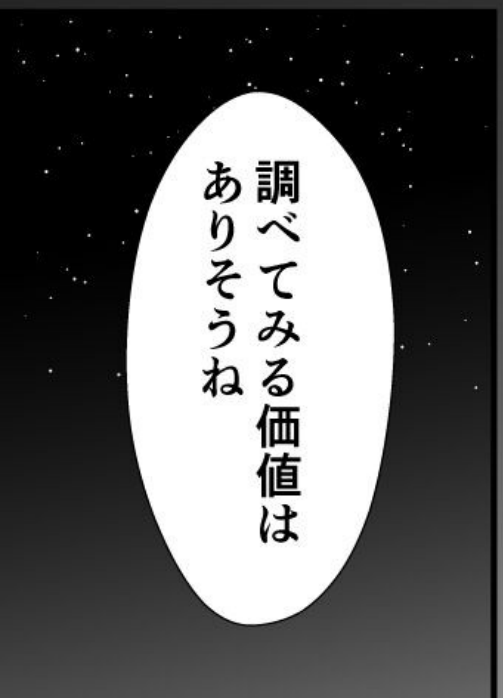
爛光天使
リュミエール
スライムを孕まされ男達に
輪姦された少女の末路

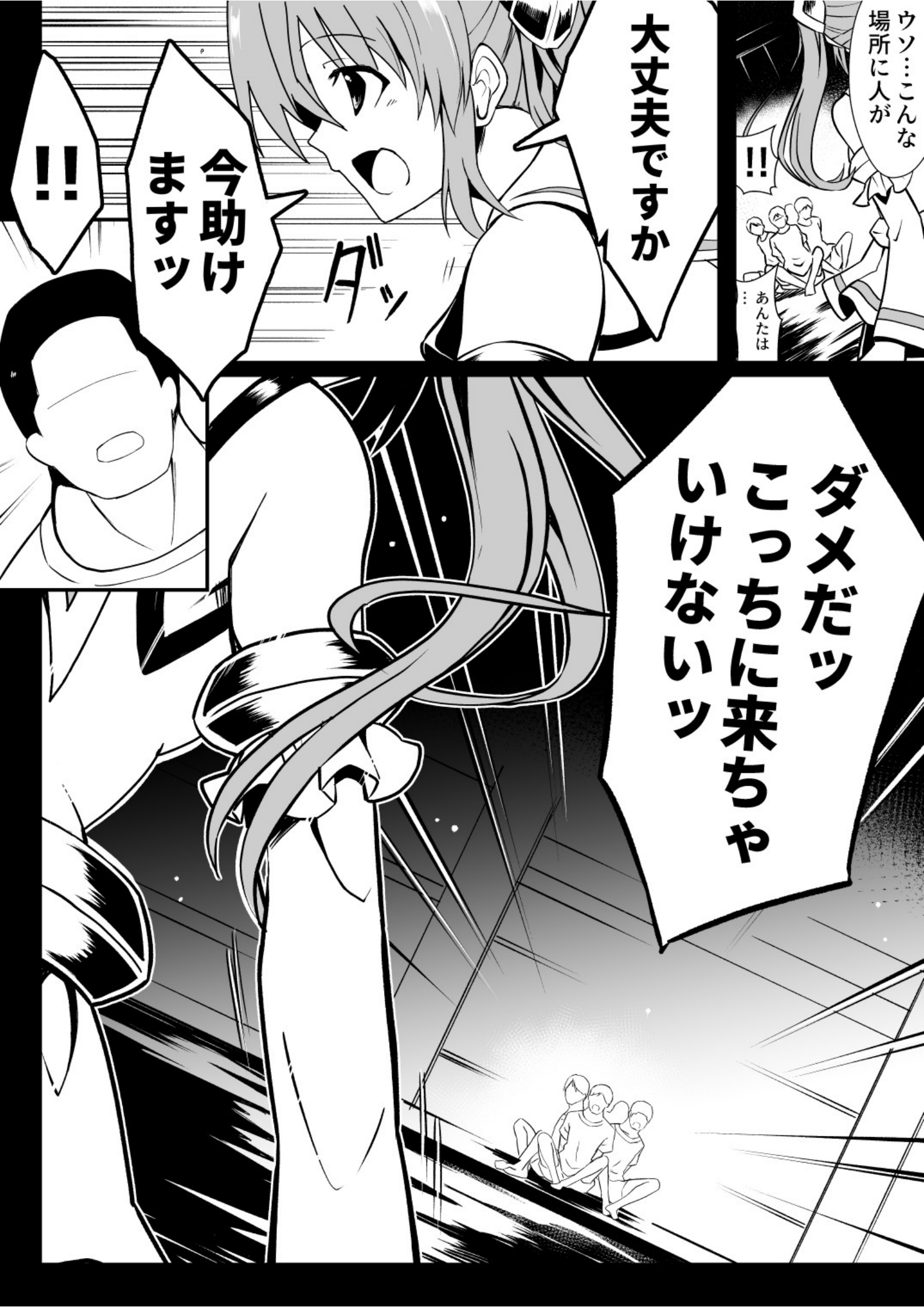
街で多発する
行方不明事件…
痕跡を一つも
残す事なく姿を消す
街の住人たち…
不可解な事件の背後に
邪悪な気配を感じた
リュミエールは
単身、事件の調査に
乗り出した

間違いない…
あの水路から
邪悪な魔力を
感じる


調べてみる価値は
ありそうね

もしかしたら
今起きている事件と
関係があるかも
しれない……

ピチャン
ピチャン
ピチャン
ピチャン
パシャ
パシャ
パシャ
パシャ
奥に進むに連れて
邪悪な気配が
強くなってる
やっぱりこの奥に
なにかが潜んで
いるんだ


ウソ…こんな場所に人が
!!
あんたは…
大丈夫ですか
ダッ
今助けますッ
!!
ダメだッ
こっちに来ちゃいけないッ

!!
しまった
これは
罠ッ

ウソ…これスライム…
ぬち
ぬちゃ
ッ…
ぬる
!!
ぬる
くッ
ぬる
ぬる

なんでこんな所にスライムが
ふふッ随分面白い獲物がかかったわね

!!
あなた達は…ッ

はじめまして
リュミエール
私は魔王ヴァルザー様に
使える悪魔エルザ
同じく
私はルーナ
だよー
よろしくねー
リュミエール
この子達…
悪魔…

街の人達を
襲っているのは
あなたたちね……
今すぐ
後ろの人たちを
解放してこの街から
立ち去りなさいッ

ふふッ
それは
できないわ
私達はもっと
多くの人間を食べて
強くならなくては
いけないの

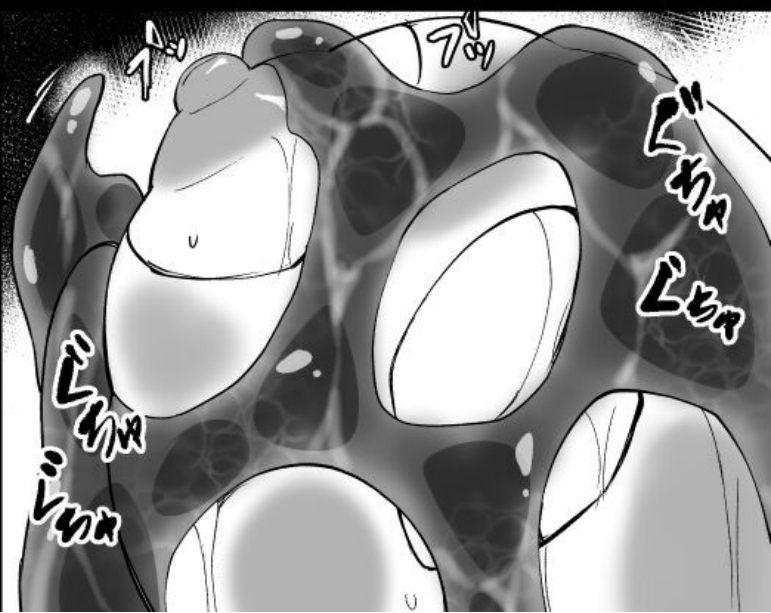
それに…
にゅる
にゅる
にゅる
今のあなたは
他人の心配を
している場合じゃ
ないと思うけど
ずずずず…
!!

いやッ

いやあああッ

はぁ
はぁ
んッ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ
ぐちゅ

こ…のッ
放…せッ
はぁ
はぁ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ


ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ
ぐちゃ

このスライム
私の天使装衣を溶かしてる
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
はぁ
はぁ
ぎゅ
じゅう
しちゅ
しちゅ
それだけじゃない
このスライムに全身を撫で回される度に
身体がどんどん熱くなっていく…
まるで媚薬を塗られているみたいだ
ぬぢゅ
ぬぢゅ
ぬる
ぬる
ぬる
はぁ
はぁ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

フフッ
気がついたみたいね
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
そう…
その子の粘液は人間を発情させる…言わば媚薬のような成分で構成されているの

さあ
どうする？リュミエール
泣いて謝るならこの場は見逃してあげても良いわよ

ぬちゃ
はぁ
はぁ
はぁ
ぬちゃ
はぁ
はぁ
はぁ
ぬちゃ
ぬちゃ
ぬちゃ
冗談じゃない…
私は光の戦士リュミエール

どれだけ
辱められようが
あなたたち
悪魔に屈したりは
しませんッ

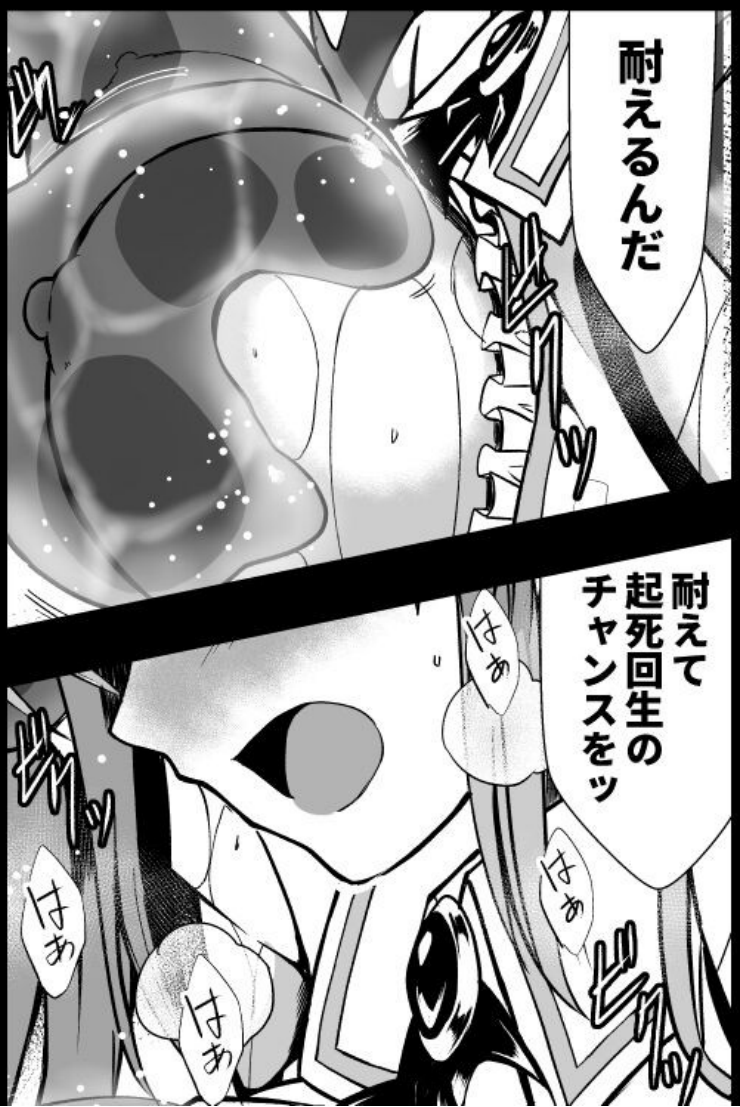
へえ
そう
いいわ
それじゃあここからは手加減なし
徹底的に辱めてあげるから覚悟しなさい
ぐぱぁ
あ

!!
ぼよん
ぼよん
ぼよん
ぼよん
いや…
待っ…

ガシャ
ガシャ
ガシャ
ガシャ
ビュー
ビュー
ビュー

はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
ぢゅぷ
このスライム
私を侵しながら
私のエナジーを
吸収してる…

こんな魔物に
屈するわけには
いかない
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ぢゃぼ
ぢゃぼ
ぢゃぼ
ぢゃぼ

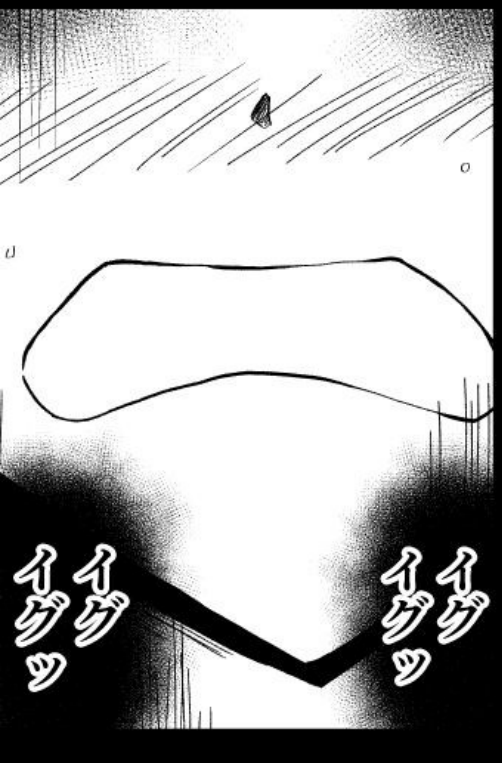

耐えるんだ
耐えて
起死回生の
チャンスをッ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ビクッ
ビクッ
ビクッ

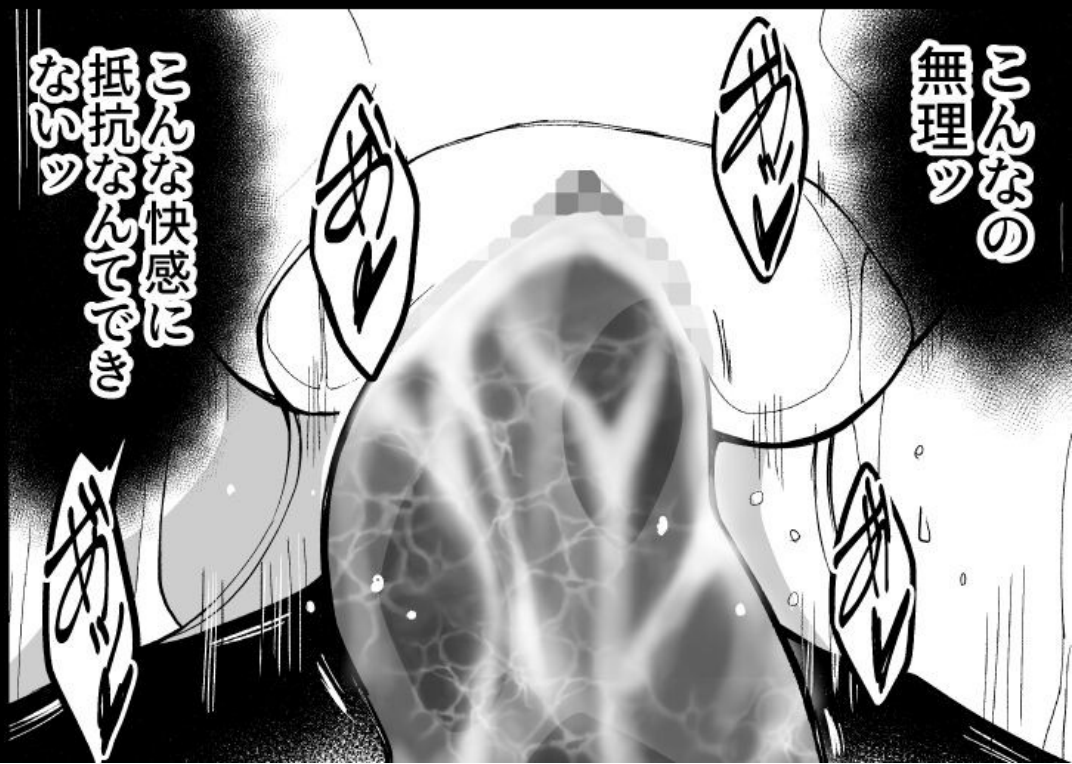
ふふッ
下のクチがガら空きよ

あああ!!

ボッ
ボッ
ボロ
ボロ
ボロ
ボロ
ボロ
ボロ
ボロ
ボロ

ダメッ…
淫液触手
チンポで膣内
掻き回されて
オマンコが
どんどん気持ち
よくなってる
オマンコの
奥から快感が
こみ上げてくる
あへ
あへ
あへ
ビクッ
グポ
グポ
ビクッ
ブチッ
ブチッ


イグッ
イグッ
イグッ


こんなの
無理ッ
こんな快感に
抵抗なんてできない
ッ
あへ
あへ

そしてその後も
リュミエールは
スライムに全身を侵され…
気を失うまで
何度も何度も
イカされ続けた

そして…

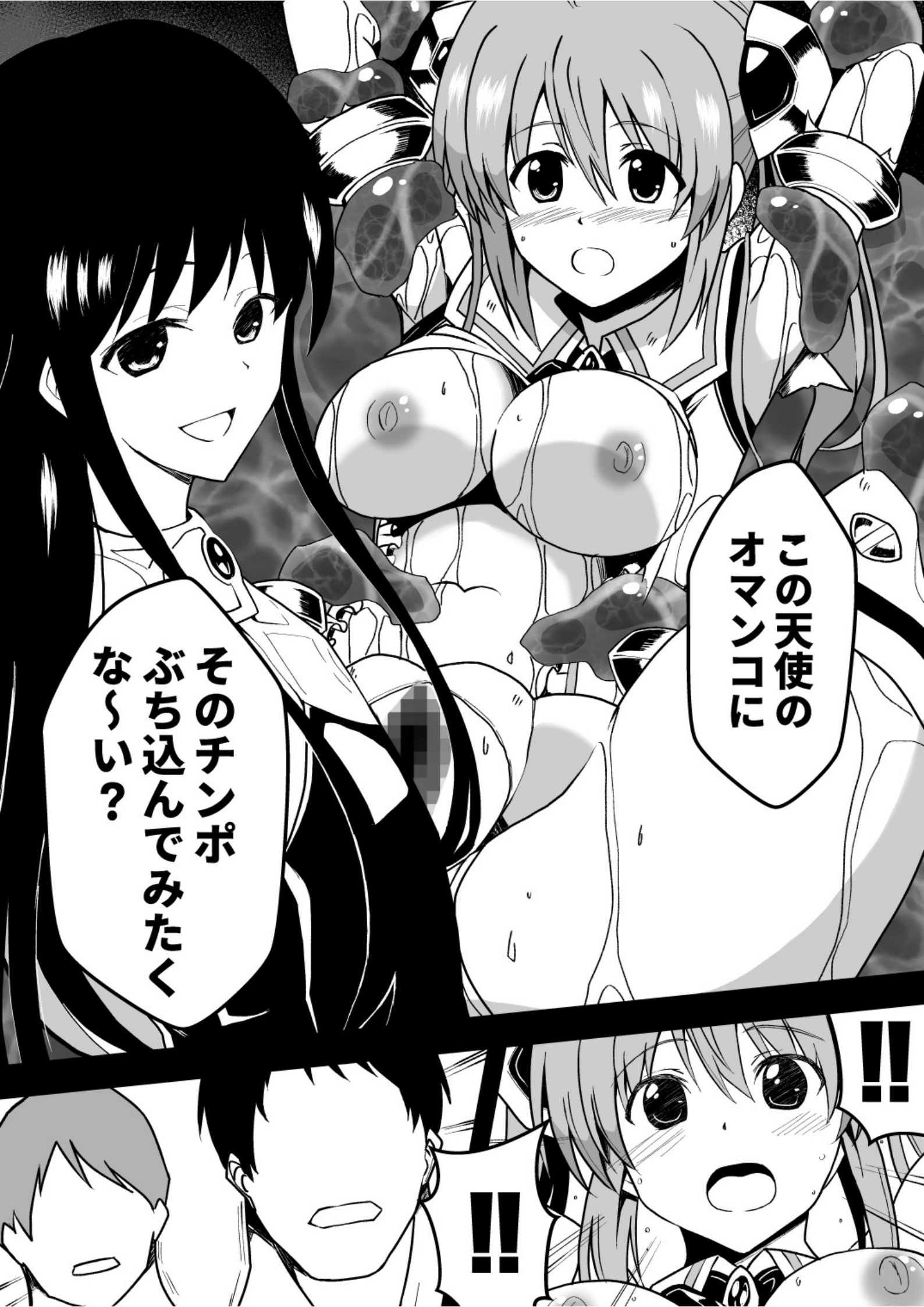
数時間後…

起きなさい
リュミエール

いつまで
寝ているつもり

う…
ん…
随分と
辛そうね
あれだけ
威勢のいいことを
言っておいて
もうギブアップ？
私達の凌辱は
まだおしまいじゃ
ないわよ

今度は私に
何をする気…
ふふッ
ねえそこで
リュミエールを見て
チンポ勃起させてる
あなたたち
ツッ


この天使のオマンコに
そのチンポぶち込んでみたくな～い？
!!
!!

なッ…何を
言ってるんだ
そんなこと
できるわけない
だろ
あら
どうして？
憧れの魔法少女を
侵してみたく
ないの？
そ…
それは…
そう…
それじゃあ
こうしま
しょう

リュミエールの
膣内に10発
中出しした子は
この場から
解放して
あげる
!!
大好きな
リュミエールを
侵せる上に自由
になれる
あなた達に
とってとっても
お得な提案よ

もし
その提案を
断ったら…？
そんなの
決まってる
じゃない
みんなまとめて
スライムの餌に
なってもらうわ

……
……

そうか
それじゃあ
仕方ないよな

!!
ごめんね
リュミエールちゃん

オレたちもこんな事
したくはないけど
死にたくは
ないからさぁ
オレたちを
助けるため
喜んで中出しさせて
くれるよね
いや…
いや…

いやぁぁッ

はあはあ
はあはあ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ
ビク
ビク
ズヤ
ズヤ
ガッ

うおおやべえ
このオマンコ
最高だ
このオマンコなら
何十発でも中出し
できそうだぜ

それじゃあ
記念すべき
一発目イクぜえ
いやッダメッ
ダメダメッ

どうせなら
10発なんて言わず
誰が一番多く
中出しできるか
競争しようぜ
いいね
いいね

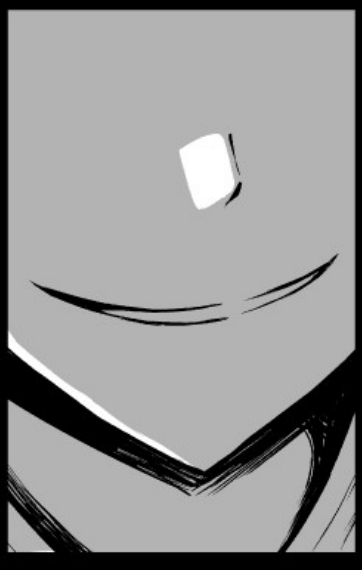
そらそら
どんどん
輪姦せッ
はぁ
はぁ
はぁ
憧れの天使を
侵せるなんて
夢みたいだ

オラオラ
休んでる暇は
ないんだぜ
4発目
いっただきーッ
こっちは
5発目だッ
まだまだ
いくぜーッ
はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

くやしい…
はぁ
はぁ
こんな形で
男の人達に
侵されるなんて
でも私を
侵すことで
この人たちが
助かるなら
へへ
たまんねんな
はぁ
はぁ
はぁ
おらおら
もっと腰振れ
随分楽しんでいる
じゃない
リュミエール
自由を奪われて
見ず知らずの男たちに
輪姦される気分は
どう？
さっきも
言ったはずよ
はぁ
はぁ
どんなに
辱められても
あなた達には
屈しないと
はぁ
はぁ
そう…
でもいいの
かしら？

!!
そのままだと
あなた…
大変なことに
なってしまうわよ

うそ…
ニチ
ニチ
なに
これ…
ニチ
ニチ



なんでッ
なんで私のお腹
こんなに大きく
なってるの

あなたが
眠っている間に

あなたのお腹に
繁殖期を迎えた
スライムを孕ませて
おいたの

!!

繁殖期を迎えた
スライムは他の生物の
精子を取り込むことで
分裂し増殖し繁殖する…

そう…

今からあなたは
スライム達の苗床に
なるのよ

さあ あなたたち
休んでる暇は
ないわよ
どんどん
ザーメンを注ぎ
込みなさい
いやッ
いやあああッ

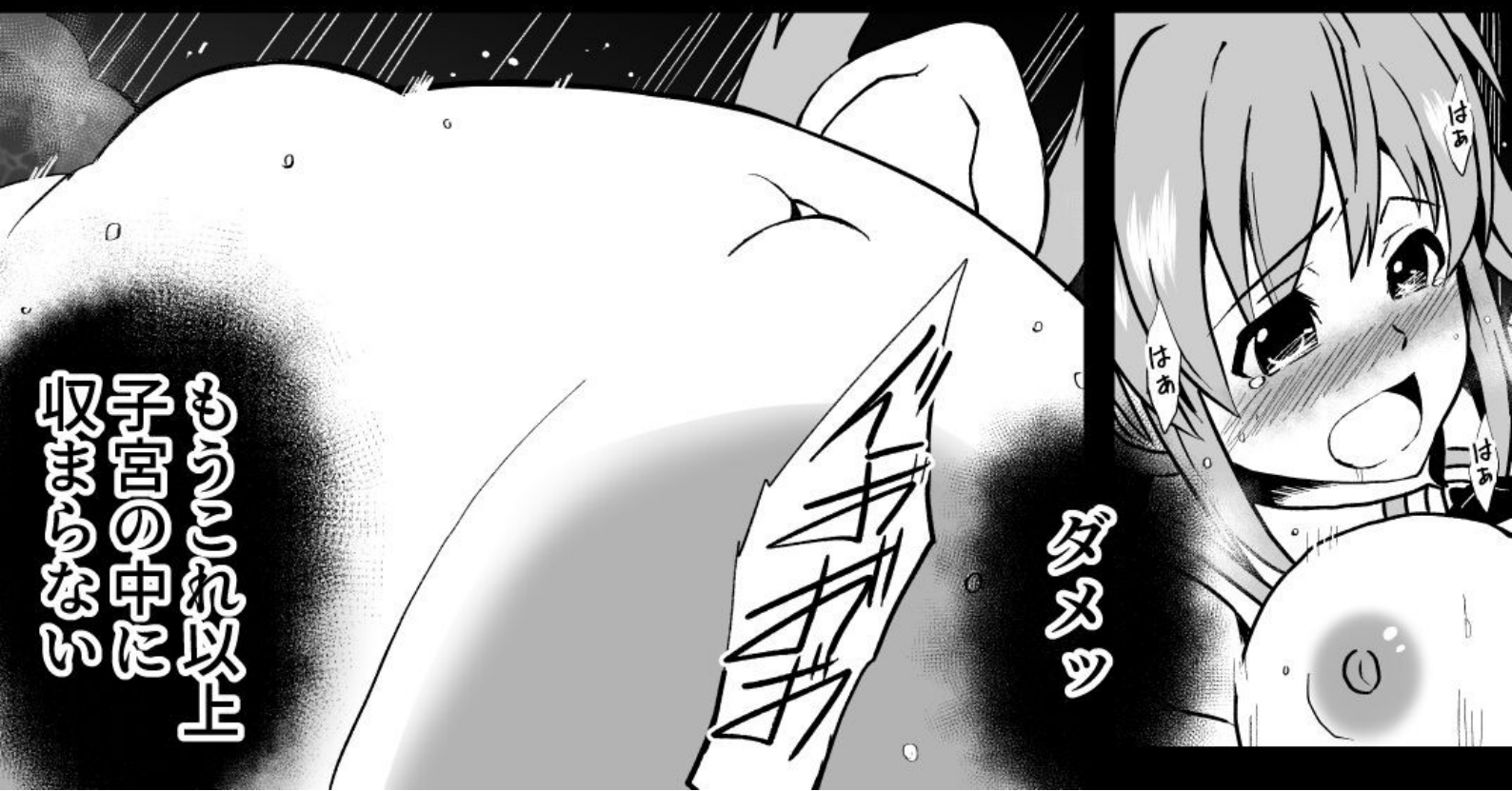
いやだッ
いやだッ
いやだッ
スライムの
苗床になんて
なりたくない
あッ
あッ
あッ
ぎゅぷ
ぎゅぷ
ぎゅぷ

うるせぇ
今のお前はオレ達の肉便器なんだ
お前は黙って侵されてれば良いんだよ

オラッ
出すぞッ出すぞッ

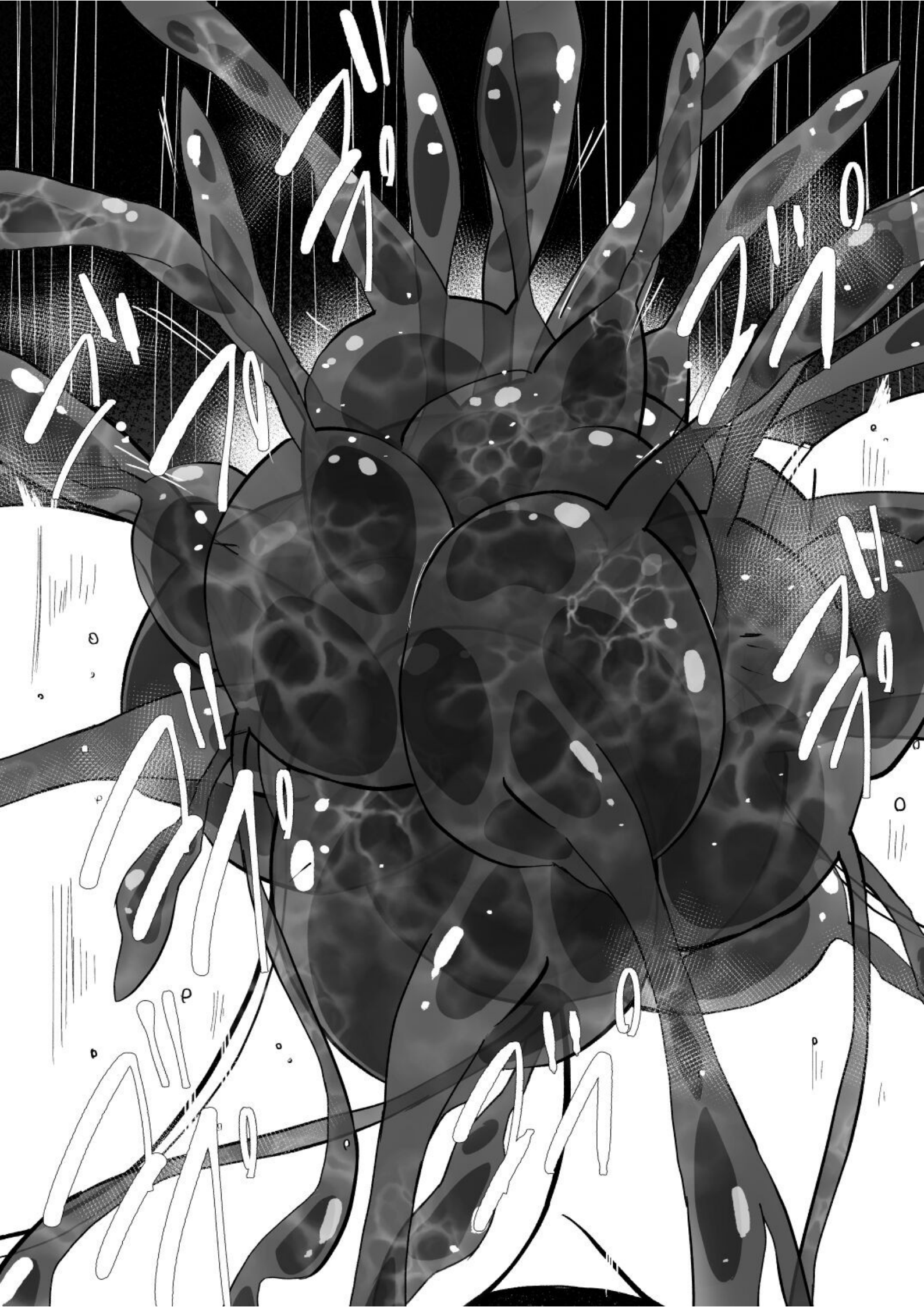
いやッ
いやあッ

ダメッ
子宮に
ザーメンが
注がれる度に
お腹が
どんどん大きく
なっていく
はあ
はあ
はあ
はあ
はあ
ビクビク
たぷん
たぷん
どぷ
どぷ


ダメッ
もうこれ以上
子宮の中に
収まらない
はあ
はあ
はあ

産まれる
産まれるッ
産まれる
産まれるッ
産まれる
産まれるッ
産まれる
産まれるッ

ニチャ
ビクン
ギチ
ガッシ
ガッシ
ギチ



ゴプ
ゴプ
ゴプ

はぁ
ビクッ
ビクッ
はぁ
はぁ
ビクッ
はぁ
はぁ…
はぁ…
ビク
はぁ…
はぁ…
ビク
ビク
ビク

ふふッ
さすが
リュミエール
一度でこんなに
たくさんのスライムを
出産するなんて
素晴らしいわ
ビク
ビク
この子完全に
伸びちゃったけど
どうする～
ねーねー
エルちゃん

そうね
せっかくだから
このまま魔力が
枯れ果てるまで
スライムを産み続けて
もらおうかしら
ずる
ずる
ずる
おおおーッ
苗床ッ孕ませッ
連続出産の巻～ッ

と…いうわけなのだけれど
あなた達はどうする？

引き続き私達に
協力してくれるの
かしら？
もちろん

よろこんで

そして…その後もリュミエールは繰り返し男たちに侵され…
魔力が枯れ果てるまで新たなスライムを孕み…産み続けるのだった…
んっ
はッ
あ
あ